

学校関係者評価

長崎県立長崎北高等学校
平成29年3月30日

1 自己評価内容

(1) 評価が特に高い項目

生徒	下校時間を守り、適切な時間に帰宅している。 周囲や相手のことを思いやって生活している。
保護者	北高は、容儀・服装指導を適切に行っている。 北高で行っている10分間読書は意義がある。 子どもは、学校生活が充実していると言っている。 子どもは、学校行事や生徒会活動・部活動に積極的に参加している。 子どもは、適切な時間に帰宅している。 子どもは、バスの中など校外でもマナーを守り、周囲に迷惑をかけないようにしている。 北高は、掃除が行き届いており、子どもは環境問題を意識した行動ができています。 北高は、教育に必要な施設や設備が整っている。
職員	学校行事や生徒会活動・部活動に積極的に参加するよう指導している。 生徒の疾病や事故に迅速・適切に対応している。 学校は、生徒がいつでも学習できるような教育環境を整えている。

(2) 評価が特に低い項目

生徒	北高は、生徒会活動が活発である。
保護者	なし。
職員	校務が円滑に推進できるよう、分掌間・学年間の連携がよく図られている。 生徒に、家庭学習をさせる具体的な方策をとっている。

2 重点目標とその達成状況

I 重点目標

(1) 心豊かでたくましい人間力の育成

- ① 切り替えの指導を通じて、「学習を基軸に据えた部活動との両立」を果たすタフな精神力を育む。
- ② 挨拶、マナー、端正な身なりなどの指導を通じて、豊かな品性、北高生としての自覚と誇りを育む。
- ③ 清掃活動や教室・部室などの整理整頓の指導を通じて、感謝の気持ちや公共心、公德心を育てる。
- ④ 時間や提出期限の厳守、三点固定による生活リズム確立の指導を通じて、自己統制能力を育てる。
- ⑤ 学校行事、生徒会活動、HR活動、部活動を通じて、リーダーシップとフォロワーシップを体得させる。
- ⑥ 『道徳教育全体計画』に基づき、「あらゆる場面で道徳教育」との認識で教育活動を展開し、特に、生命の尊厳、個や人権の尊重について深く理解させ、自他共に思いやる心を育ませる。

(2) 学びの体幹強化と進路実現

- ① 朝読や図書館利用促進などを通じて、生涯学習、生きる力の基本としての読書啓発を推進する。
- ② 独自教材の作成・活用や授業規律の徹底など、計画的で組織的な各学年の導入期指導を実施する。
- ③ 素材研究と教授法研究を徹底し、互観授業、生徒による授業評価も活用して良質な授業を提供する。
- ④ スタ・サポ、定期考査、対外実力・模試、センター試験、大学入試問題などの分析・検証を通じて、授業改善（授業のPDCAサイクルの確立）に取り組む。
- ⑤ 『生活の記録』を用いて自己管理能力、時間活用能力を育成し、3時間以上の家庭学習を確保させる。
- ⑥ 『進路シラバス』の活用、総合的な学習の時間、進路講演会などを通じて、進路選択能力の育成を図る。

(3) 保護者・地域の期待に応える学校づくり

- ① 保護者への連絡を密にし信頼関係を築くなかで、生徒が社会人として自立できるよう援助する。
- ② PTA活動への積極支援、保護者の来校機会の増設により、保護者との連携、相互理解を一層深める。
- ③ 面談活動や観察による生徒理解に努めるとともに、特別な配慮や支援が必要な生徒に対しては、カウンセリング委員会、特別支援教育推進委員会などの組織的な対応と支援を行う。
- ④ 安全で安心、より豊かな教育環境を提供する。
- ⑤ 少人数クラス編制、35コマ授業、海外語学研修、高大連携事業、長大生インターンシップ制度、北高祭、長崎北高ココデショ、青志寮、青志奨学金制度など、本校の特色ある教育活動をさらに進化させる。
- ⑥ Webページやメールメイト、『長崎北高NEWS』等を通じて、積極的に情報発信と情報公開に努める。

II 達成状況

(1) 心豊かでたくましい人間力の育成

- ① ほぼ達成できた。この項目の評価は概ね良好であるが、学習と部活動の両立は本校の生命線であり、一層の推進を目指して取り組んでいく必要がある。
- ② ほぼ達成できた。この項目の生徒評価は昨年より0.1上がっており、挨拶、マナー、身なりは良くなってきていると生徒、教員とも感じていると理解される。
- ③ ほぼ達成できた。清掃活動については生徒・保護者に比して教員の評価がやや低い。教員として目標を高く置いており、まだ指導の余地があると感じていると理解される。
- ④ ほぼ達成できた。下校・帰宅時間については生徒・保護者評価は高い。提出期限についても概ね良好である。
- ⑤ ほぼ達成できた。学校行事などの特別活動に対する評価は生徒保護者教員とも良好である。
- ⑥ ほぼ達成できた。学校評価における「周囲や相手のことを思いやっている」に対する生徒の評価は良好である。

(2) 学びの体幹強化と進路実現

- ① ほぼ達成できた。朝の読書活動は定着しており生徒・保護者の評価は良好であるが、図書貸出冊数は目標の4,000冊に届かなかった。一層の工夫が必要である。
- ② ほぼ達成できた。生徒の実態を踏まえた独自のブリッジ教材を作成した。また、組織的かつ一貫性を持った導入期指導のマニュアルを作成した。
- ③ 改善の余地がある。校内での取り組み以外にも他校訪問や県の事業を活用して授業改善に取り組んだ。しかし、一人ひとりの能力に応じた適切な学習指導という項目では生徒2.9、教員3.0であり、まだ工夫が必要とされている。

- ④ ほぼ達成できた。学力検討会以外にも主な模試・実力テストの結果に対して分析と対策を行い、授業改善（授業のP D C Aサイクルの確立）に取り組んだ。しかし、この項目の教員の評価は3. 0であり、まだ改善の余地があることを示している。
- ⑤ 改善の余地がある。学校評価の生徒の数値は前年度から0. 2アップして生徒の意識向上がみられるが、生徒・保護者ともに2. 9という評価であり、家庭学習の確保という点では今後一層の工夫が必要である。
- ⑥ ほぼ達成できた。しかし、さまざまな手立てを講じているにも拘わらず、進路指導に対する評価は生徒・保護者、教員2. 9～3. 1であり、工夫の余地があることを示している。

(3) 保護者・地域の期待に応える学校づくり

- ① ほぼ達成できた。学校評価の保護者評価は25項目中3. 0以上が23項目であり、保護者には概ね本校の教育活動を信頼していただいていることが読みとれる。
- ② ほぼ達成できた。特に教員の評価が昨年より0. 3上昇している。P T A活動のみならず、北高祭や講演会などに参加、面談などで保護者の来校機会を増やし、保護者との連携、相互理解を一層深めることができた。
- ③ ほぼ達成できた。教育相談部、保健室、教育相談委員会、特別支援教育推進委員会がよく機能し、外部の専門家の支援も得つつ、必要な生徒の把握と支援を行うことができた。また、悩み調査の実施や心のポストの設置、保健相談部だよりの発行など積極的な活動に取り組んだが、学校評価の数値は決して高くない。今後も生徒の心に向き合えるよう取り組みを工夫していきたい。
- ④ ほぼ達成できた。新しい部室棟の建設、放送設備の更新などでより豊かな教育環境を実現することができた。保健委員会により生徒自身による安全点検も軌道に乗っている。
- ⑤ ほぼ達成することができた。北高祭やココロデショ、海外語学研修などに改良を加えることができた。北高の特色ある教育活動この項目に対する教員の評価は昨年比0. 2アップしている。
- ⑥ ほぼ達成することができた。W e b ページについてはまだ改良の余地がある。メールメイトについてもさらに活用を図り、広報活動の一層の充実を図りたい。

3 自己評価・取り組みの検証および改善についての意見

- 北高生のバスマナーは概ね良好だが、リュックで通路の両サイドに立たれて通れないことがあった。継続して指導をお願いしたい。
- 生徒は単独で登校する時の挨拶は良いが、グループで登校する時の挨拶がやや弱いと感じている。
- 体育祭は天候の影響で種目変更などを余儀なくさせられたが、その際の生徒の頑張る姿が素晴らしかった。
- 地域との交流をよく行っている。小学生との交流なども素晴らしいのでもっと進めて行ってほしい。
- 持久走駅伝大会の時、風雪という悪天候にもかかわらず、P T Aの皆さんがうどん作りをよく頑張ってくれた。
- 北高にやってよかったという保護者の声が寄せられている。先生と生徒の距離が近い、職員皆でセンター試験を受験する生徒を見守る温かい姿勢など、北高のいいところを伸ばして行ってほしい。
- H P をもっと見やすく工夫してほしい。更新もこまめに行ってほしい。また、大会優勝などの懸垂幕などを外部から見やすい位置に変更できないか。古いものが懸かっているのも更新をこまめに行ってほしい。
- 毎月発行されている北高 NEWS で北高の様子がよく分かる。

4 学校側の取り組み

- 職員全体で足並みをそろえて、本校の校是である『両道顕揚』を実現するための取り組みをさらに進めていく。挨拶・身なり、掃除などの生徒指導を基盤とし、学習・進路指導の充実と部活動の活性化に取り組み、学校関係者や地域住民のみならず広く県民からも評価される学校作りに一層取り組んでいく。
- 地元に愛される学校作りを進めるために、地域との交流やP T Aを始めとした関係団体との連携を一層強化していく。
- 広報は、北高の教育活動への理解を広げるだけでなく、生徒募集にも直結する大事な問題である。オープンスクールや学校開放などの工夫、学校案内や北高 NEWS などの紙媒体の改良、ホームページなどの Web 情報の更新など特に留意して充実するように努める。また、本館の外壁工事も完了したので、懸垂幕についても逐次更新して、新鮮な情報を発信できるよう努める。